



## ◎離島若年者のふるさと意識（高いUターン希望）

離島出身で将来出身地域へのUターンを希望する者の比率を求めたところ、下記のような数値が報告されました。思った以上に高い数値だと思います。

五島市、壱岐市での高校生アンケートでの卒業後&将来の帰郷の意向調査ではさらに踏み込んだ項目による数値もでています。

- 「住みやすい」との認識のうえで「仕事があれば今後も住みたい」
- 就職先決定の際に重視することは「給料が高い」「働きがいがある」「経営が安定していて長く続けられる」
- 子育て、教育環境はよく「子どもは島で育てたい」

## ＜五島市＞ 五島市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（H27.12）

- ・実施時期；H27年6月
- ・調査対象；五島市在住の高校生全学年 930人  
うち県外就職希望者 496名
- ・Uターン希望； 52.4%（約260人）

## ＜対馬市＞ 対馬市長期人口ビジョン（H27.12）

- ・実施時期；平成27年6月1日～7月4日
- ・調査対象；平成26～27年度に転出した18～29歳までの対馬市に本籍地を有する男女1,040人（有効回答168件）※
- ・Uターン希望； 既に帰郷が決定 4%（7人）  
帰郷を検討中 33%（56人）  
検討したが断念 26%（44人）

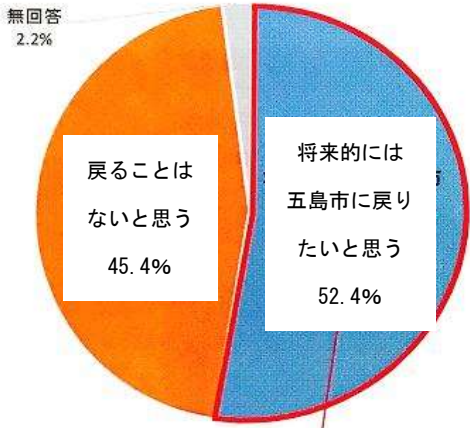
## ＜壱岐市＞ 壱岐市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（H27.10）

- ・実施時期；H27年
- ・調査対象；壱岐市在住の高校生3年生 246人  
うち島外居住見込者 147人
- ・Uターン希望； 66%（約97人）

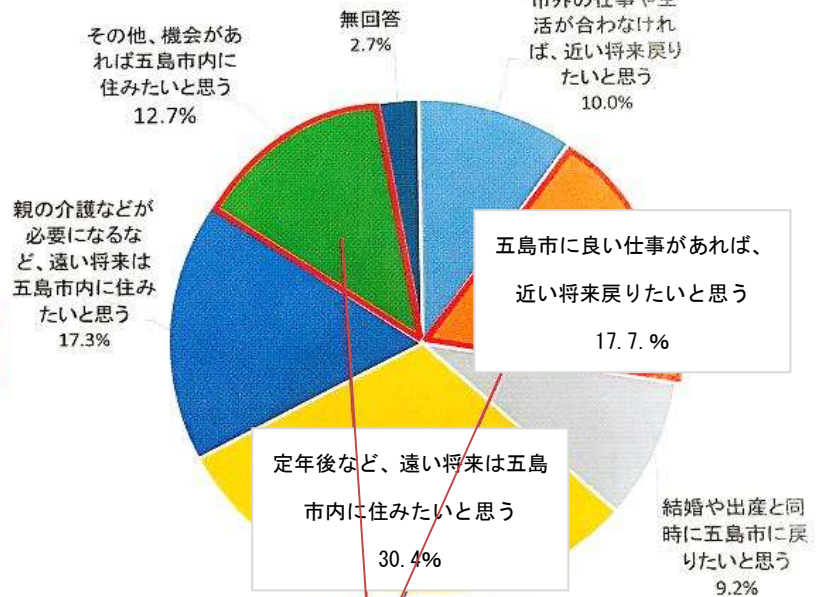
これらの調査からも課題はどの島も共通で一次産業・観光振興による雇用創出と住みやすい地域づくりのため、特に保健・医療サービス、高齢者福祉の充実に集中的に取り組むことが肝要です。



【将来の帰郷ニーズ】



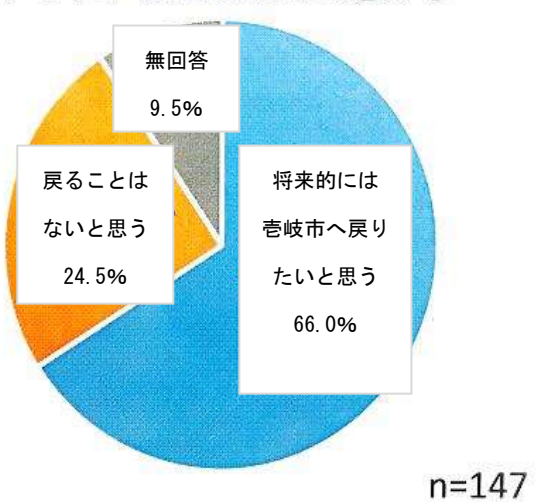
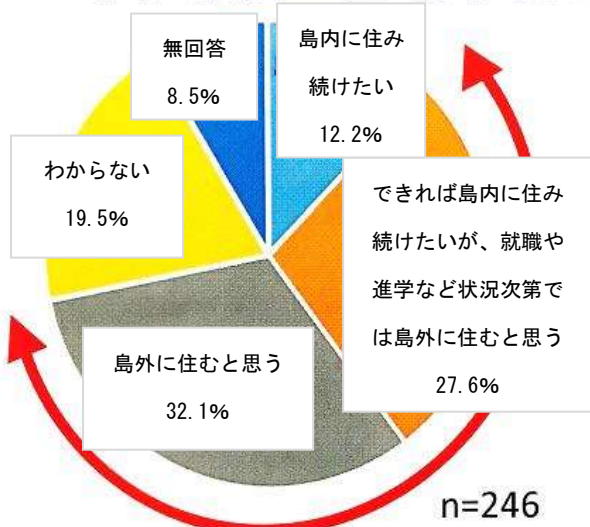
【帰郷のタイミング】



将来的には五島市に戻りたいと思う 52.4%
 ×
 新たなリターンの予備群 30.4%
 = 15.9%

若年層対策により、流出数の16%程度(年間20~50人程度)の改善可能性がある

4)卒業後の壱岐市居住 5)将来の壱岐市居住意向



※ 資料で気になったのは対馬の調査による有効回答の低さ。既に故郷に関心をなくしているとしたら…打つ手を考えないと！それからやはり私が強く意見している「人口のダム機能」も大きな課題です。島は離れてもせめて県内居住を！